

地震動予報業務許可事業者 気民第149号(許可第148号)
高度利用者向け緊急地震速報専用受信機



緊急地震速報専用受信機

DPASSは、高度利用緊急地震速報を受信する専用端末です。

気象庁から発報される高度利用緊急地震速報の電文を受信し、いち早く端末設置場所までの到達時間と震度をお知らせします。
 揺れが到達するまでの予測震度・予測猶予時間を知ること、多くの人命や財産の安全に役立ちます。



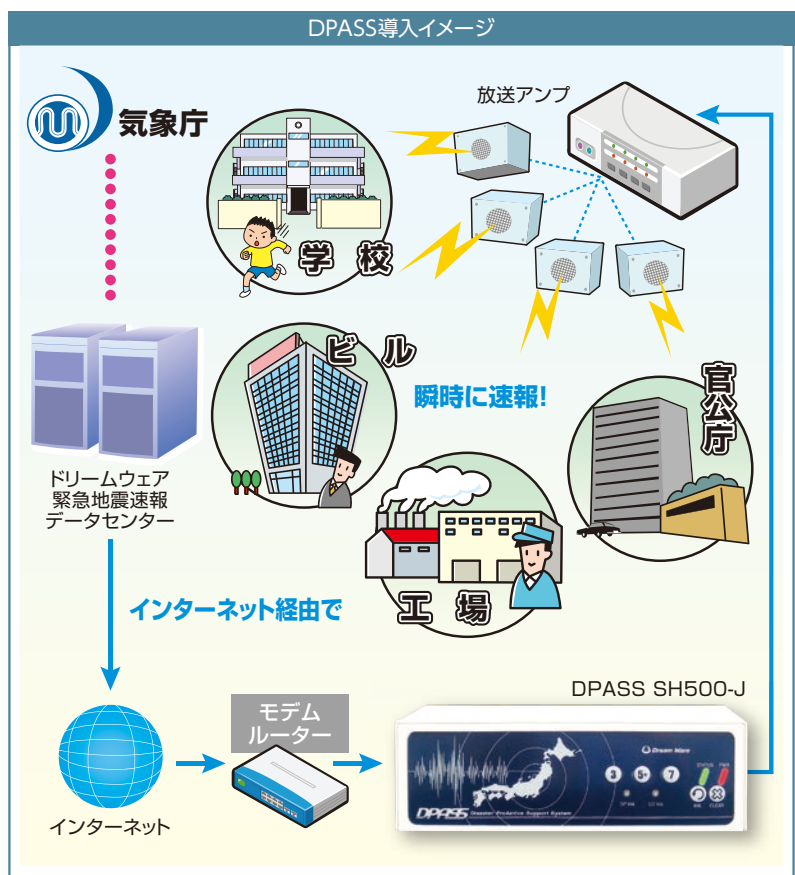
製品仕様

名称	DPASS 緊急地震速報受信端末
品番	SH500-J
本体外形寸法	幅220mm×奥行220mm×高さ69.2mm (突起部除く)
重量	1.9kg
電源電圧	DC12V/ACアダプタ使用 (出力: DC12V/800mA)
消費電力	待受1.0W 最大1.2W
温湿度条件	操作時0~40℃/非動作時-10~60℃/湿度10~80%RH (結露なきこと)
電文受信方式	IPv4インターネット常時接続環境でのTCP/IP方式

注文番号	品番	本体価格(税抜)
670-90	SH500-J	OPEN

- 670-91 緊急地震速報サービス 月額使用料
- 670-92 緊急地震速報サービス 年額使用料(1年)
- 670-96 緊急地震速報サービス 年額使用料(3年)

① お見積もりについては別途ご相談ください。
 ② 高度利用緊急地震速報を受信するためには別途使用料が必要です。



ワークスペース
 会議コミュニケーション
 収納家具
 役員応接
 ロビー
 倉庫工場
 教育医療福祉
 ソリューション

高度利用緊急地震速報と一般利用緊急地震速報の違いとは？

高度利用者向けのDPASSと一般利用者向け(TV、ラジオ、携帯電話など)の違いはこんなにあります！



項目	高度利用の場合	一般利用の場合	DPASSのメリット
発報のタイミング	早い 地震情報を受けたら すぐ発報!	遅い 情報が 正確になってから発報!	2011年3月11日の三陸沖地震 ●宮城県仙台市内のDPASS端末 (確定震度[6弱]) 「震度5弱/15秒前」 ●東京都新宿区のDPASS端末 (確定震度[5強]) 「震度4/20秒前」
発報震度	震度1から震度7まで細かくお知らせ	震度5弱以上の地震で 震度3以上の地域にお知らせ	テレビやラジオでは 震度5弱以上の予測がなければ報知しない。
予測エリア	設置場所の震度を ピンポイントでお知らせ	広い範囲でお知らせ 現在地状況と必ずしも一致しない	全国ネットでのTV・ラジオ放送の場合は、揺れに関係のない場所にも放送されるため、受け手側にとってはあいまいな情報となる。
死活監視	できる	できない	ドリームウェア緊急地震速報データセンターで受信機が正常に接続されているか常に管理をしています。

地震発生後、瞬時に各地域の予測震度・到達までの猶予秒数を計算しカウントダウンを始めます。
 地震発生後、あいまいな表現でテレビやラジオなどを通してお知らせします。

施工家具
 セキュリティ
 地震防災対策